

# 私たちの湘南御行会だより

令和3年3月1日229号

## 泡タイプ薬用ソープをお配りしました



早いもので皆様に体温管理表をお配りして1年が経過しました。相変わらずコロナが湘南御行会の活動を阻害しています。グラウンドゴルフだけが何とか活動を行っている状況です。このままで行くと、昨年に続いて、片老連主催岩本楼での懇親会、諏訪神社での花見は中止になりそうです。湘南御行会の総会も中止になるかも知れません。様々な行事が出来ない状況下、マスク・手洗いはすっかり日常に定着しました。買い物に行くと何処のお店でも手の消毒を要求されます。2～3軒の店を廻れば消毒液で手が荒れそうです。せめて帰宅して手を洗う時は手を荒らさない物は無いかと探した結果、肌に優しいとの謳い文句の製品を見つけました。キレイキレイと言う名前の泡タイプ薬用ソープです。先日皆様にお配りしました。日常の手洗いにご利用いただき、白魚のような手をお守りください。 湘南御行会

### 紙幣肖像の変遷

千円札	5千円札	1万円札
1950年 聖徳太子	1957年 聖徳太子	1958年 聖徳太子
1963 伊藤博文		
1984 夏目漱石	新渡戸稲造	福沢諭吉
2004 野口英世	樋口一葉	福沢諭吉
2024 北里柴三郎	津田梅子	渋沢栄一

(注) 国立印刷局の紙幣写真(2004年まで)を基に作成

2月の会報でも触れましたが、皆さん現在発行されている「紙幣の肖像」が誰だか直ぐに答えられますか？左の写真、小さいのと、カラーでないので分かり難いですがお馴染み、お札の肖像画変遷です。紙幣は20年毎に偽造防止を目的にデザインを変えてきたと言われています。デザインが変わった当初は何故か馴染めない気がしますが、慣れてしまえば全く違和感はありません。今は硬貨だけになりましたが、板垣退助の100円札は未だ記憶にあります。3年後には新しい紙幣に変更される1万円札の肖像。渋沢栄一の大河ドラマがHNKで始まりました。最初の視聴率は26%と高いスタートの様です。聖徳太子、福沢諭吉さんに次いで一番高額な紙幣に登場する、渋沢栄一さん、どうか我が家にもご縁が有りますように。お札の中で日頃一番お目にかかるのが多い千円札、肖像画が野口英世であることを忘れていました。樋口一葉の5千円札も同じくです。何故かお札と言えば聖徳太子が浮かびます。紙幣への願望が強かった貧乏会社員の頃の名残でしょうか？ 岩田

### 会費納入のお願い

令和3年度、年会費 金額：1200円/1年間（ひと月あたり100円です）

3月から4月にかけて、担当班長が訪問いたします。4月10日迄の納入にご協力ください

### 訃 報

会員の熊野文子さんが逝去されました。享年75歳でした。熊野さんは湘南御行会に入会されて10年以上、会の発展に寄与されました。老人クラブ以外にも活躍の場を持たれ、藤沢市主催の地域活動見本市で某団体の役員として参加され優しく振舞われていました。ここ一年間コロナ禍で湘南御行会の活動もままならず、お会いする機会に恵まれませんでした。突然の訃報に驚きを隠せません。未だ75歳と言う若さ、残念です。心よりご冥福をお祈り申し上げます。合掌

### 在りし日の熊野文子さん



## 遊具が消えて行きます！

グランドゴルフのメンバーの方々はご存知ですが西方公園の遊具の改修工事が行われています。掲示されている完成予想図を見ますと、今迄の遊具と比べると様変わりしています。何故か。滑り台、ジャングルジム、シーソーが見当たりません。ブランコが4基から2基に減り新たに穴の開いた衝立を横に立てかけたような遊具が追加されるようです。え！何故滑り台がないの？ジャングルジムは？シーソーは何処へ？大幅な変化、一体どういう訳なの？そこで持ち前の好奇心から調べて見ることにしました。

昭和31年（1956年）に制定された都市公園法公園では公園の三種の神器として、「砂場」「ぶらんこ」「すべり台」の設置が義務付けられていました。しかしその規定平成5年（1993年）の都市公園法改正において、三種の神器は廃止されました。この辺からどうやら最近では危険？と思われる遊具は撤去される運命に有る様です。そう言えば最近では公園から箱型のブランコ、地球儀が回転するようなグローブジャングルを見掛けなくなりました。公園の遊具は管理が義務付けられています。もし管理が行き届かないで事故が発生したら責任問題になります。管理が行き届いていても事故が起きるかも知れないと言う遊具は廃止の運命に有ります。それは過去の事故例から危険と判断されているようです。ではどんな事例から危険と判断されるのでしょうか？

- 滑り台⇒滑り台や階段の途中から転落。頭を下にして滑り降り地面と衝突。滑り台を逆方向から駆け上りバランスを崩して転落。
- 鉄棒・登り棒⇒鉄棒や登り棒にぶら下がっていて手が離れ落下。
- 雲梯⇒雲梯にぶら下がっていて落下、雲梯の上に昇っていて転落
- ブランコ⇒ブランコからの転落・落下。動いているブランコから飛び降りて転倒。他の子どもが遊んでいるブランコと衝突。
- ジャングルジム⇒ ジャングルジムの上から飛び降り転倒し、足を骨折。ジャングルジムにぶら下がっていて落下し、足を骨折。
- 箱型ブランコ⇒ 箱ブランコの外でブランコをこいでいたが、ブランコの勢いに付いていけなくなり転倒し、ブランコの踏み板と地面に頭や足挟まれる。動いている箱ブランコから飛び降りようとして転倒し、踏み板と地面の間に挟まれる。箱ブランコと支柱の間に足を挟まれる
- シーソー⇒支点に指を挟んだ、相手が飛び降りた為、こちらのシーソーが強く着陸し脳震盪を起こした
- 回転する遊具⇒挟まれる。振り落とされる、引きずられる

確かに事故例を見れば遊具に危険が潜んでいることは分かります。動きの早い遊具には危険度が高い物も有ります国土交通省も遊具に関する指針を出しているようです

私個人的にはフーンそんな物なのかなあ～遊具に多少なりとも危険は有ると思うのですが、それでは今の世の中ダメなのですね。西方公園の改装工事は3月末には完成します。滑り台が無い、シーソーが無い公園、皆さんはどう思いますか？遊ぶ子供たちはどう思うのでしょうか？お母さん方は？

ところで皆さん、子供の頃の遊具にはどんなものが有りましたか？私の記憶では公園には砂場と鉄棒しか無かった気がします。イヤ公園そのものが無く、公園らしきは神社、寺の庭でした。小学校の校庭には雲梯と、鉄棒丸田を吊るした有働円木、鳥居のような木の柱で支えたブランコ、たまに箱型のブランコくらいでした。危険度は昔も今も変わらないと思います。たとえ怪我をしても今ほど社会問題にはならず、自分の身は自分で守るが基本で、友達が絡んでいても恨みもトラブルも少なかった気がします。当時の風潮良い、悪いは別にして 岩田

## 今後の主な行事予定及び編集後記

予定では3月7日迄緊急事態宣言です。公の施設は使用できません。宣言終了後も、高齢者の行事は色々制限を要求されると思います。片老連の行事で、諏訪神社の花見、岩本樓の懇親会は中止の方向です。4月に予定している湘南御行会の総会も中止を考えています。決算・活動報告及び3年度の活動計画は2年度同様書類による報告とする予定でいます。事態が好転すればその時点でお知らせ致します。無し無し尽くして申し訳ありませんが皆さんもう少しご辛抱願います。しかし自然の営みは変わらず、西方公園の玉縄桜は既に満開、私の家では早くもモクレン（木蓮）が満開となりました。モクレンの花言葉は「自然への愛」「崇高」「忍耐・持続性」正に湘南御行会の皆様そのものです。 おだやかなおだやかな春を待ちましょう